



## くらじゅう図書館、始めます(プレ開催)

皆さんの暮らし(くらし)を充実(じゅうじつ)させるために図書館員がお手伝いします。

インターネットで図書館の本を予約しよう

日時 3月9日(土)

10時半～11時半、15時～16時

会場 市図書館エントランス

内容 パソコンやスマートフォンから、市図書館の本を予約する

※パソコン不要。スマートフォン持参

※今後は、大人向けのおはなし会や朗読会、図書館の本を使った手芸・工作教室を行う予定

## ときめきアロマ教室

ハーブやアロマをテーマにした物語にちなんだワークショップを行います。

自分だけのルームフレグランスを作ってみませんか。

日時 3月29日(金) / 10時～11時半

会場 文化会館小ホール

講師 財津園美さん

(アロマセラピーインストラクター)

対象 小学3～6年生

定員 30人(先着順)

申込方法 電話・図書館カウンター

## 知ってる?野田宇太郎 ③文学散歩の創始者編

「〇〇(土地名)文学散歩」は、実は野田が創った言葉ということをご存じでしょうか。

戦争や戦後復興により風化していく東京の文学的遺産を発掘・記録するため、昭和26(1951)年1月、野田は新聞で「新東京文学散歩」の連載を開始しました。詩人でもある野田の格調高い文章と、綿密な調査によって書かれた作品は、翌年に文庫版がベストセラーになり、ラジオ放送されるなど一大ブームを巻き起こしました。

野田は「文学散歩」という言葉を「文学にゆかりのある土地をさまざまな文献で調べあげ、さらに現地を歩いて詳しく調査し、それを文章で紹介する文学研究」という意味合いで使い始めましたが、今では「文学作品や文学者ゆかりの土地を実際に歩いて体感する」という気軽な形で使われることが多いようです。アニメや漫画の舞台となった土地を実際に訪れる「聖地巡礼」にも通じるような考え方を、今から73年前に実践していた野田の先見性には驚かされます。



年齢を重ねれば重ねるほど、家で過ごす時間が多くなっていませんか。家での生活が少しでも楽しくなるような本を紹介します。

あっこれ食べよう！  
70歳ひとり暮らしの気楽なごはん

大庭英子 / 著 主婦の友社

70歳のプロの人気料理家の大庭英子さんが実際に食べている、手軽においしく楽しく作るレシピが掲載されています。

また、体と心に負担をかけない買い物のコツや、食材・調味料選び、冷凍術、便利な調理器具など、真似したくなるライフスタイルを紹介。時間にゆとりがある人は手作りジャム、煮豆はいかがでしょう。友人や知人を招くときには、ひとりでも準備が簡単なおもてなしレシピも紹介されています。